

## 明日から冬休み！

寒い冬が訪れ、ついに明日からは冬休みです。夏休みのように長いお休みではありませんが、短い冬休みの中で、友達や家族で遊びに行ったり、宿題や自主学習に取り組んだりして、成長した子供たちに会えるのが今から楽しみです。



## いろいろな道具を使いました！

2学期は1年の中で最も長い学期ということもあり、全ての学年で新しい道具や技法について学習しました。

1年生はスタンプングの技法を学習したり、アクリル絵の具を使ったりしました。2年生はカッターや墨汁を使って表現活動をしました。3年生はポスターの描き方やのこぎりや金づちの使い方を学びました。4年生は土粘土を使って立体作品をつかったり、彫刻刀の使い方を学びました。5年生は針金を使ったり、静物画に挑戦したりしました。6年生では、1年生から5年生の学習で学んだまとめとして椅子をつかったり、グラデーションや遠近法など難しい内容も学習しました。

図画工作の授業ではそれぞれの学年に合った道具を使ったり、技術を習得したりします。いきなり糸のこぎり、金づちなどを使用したり、難しい技法を習得するのが不可能なのは当たり前です。学年が上がるにつれ、既習事項を身に付けた上で新しい道具や技法にチャレンジすることができるのです。

よく、作品を展示していると低学年の子供が高学年の子供の作品を見て「すごい！」「なんでこんな作品がつかれるの？」という声を耳にします。単純に年を追うごとに成長していくから、というのがありますが、それぞれの学年のときに正しい道具の使い方や技法を身に付けているからなのですね。

図工では危険な道具を使います。しかし、正しく使えば怪我をすることはなく、表現の幅が広がります。新しい道具を使えるということは一歩おとなに近づくということです。

3学期も新しい道具や技法を学んでいきます！

## 1年生

12月の図工では、平面作品2つと立体作品を1つ作りしました。

12月の最初の図工ではスタンプングの学習をしました。縄やスポンジなどに絵の具を付けて、画用紙にペタペタとスタンプングをして平面作品をつくりました。スタンプの形からいろいろな物を想像して描くことができました。

中旬の図工では、雪で「できたらいいな」ということを考え、白い絵の具で絵を描きました。その後、パスで白い絵の具の周りを縁取り、指でぼかして輝いているような表現をしました。

2学期最後の図工では、ビニール袋にすずらんテープを入れて、半透明の可愛らしい立体作品をつくりました。子供たちはこの作品が気に入ったようで、休み時間に2つ目、3つ目をつくり図工室へ来る子がたくさんいました。



## 2年生

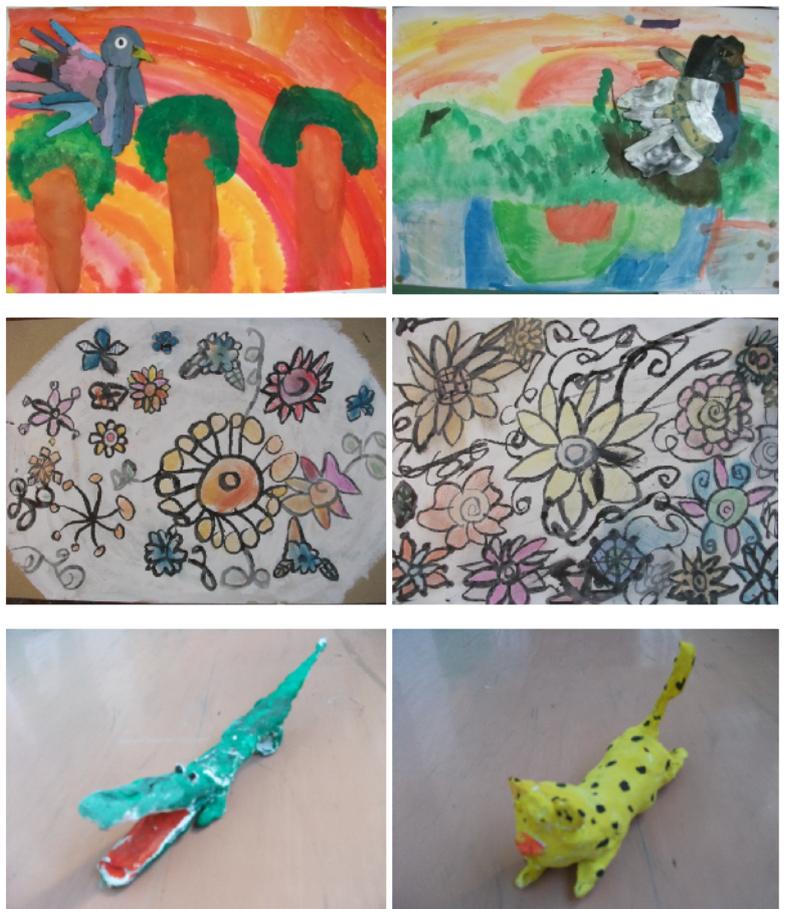
12月の授業では平面作品2つと立体作品を1つ作りしました。

12月の最初の図工では、「色とり鳥」の作品を完成させました。自分の手の形を象った画用紙を組み合わせて鳥の形をつくり、ぼかしの技法で描いた背景に鳥を貼り付けました。

2回目の図工では、墨で花を描きました。黄色みがかかった厚紙に白い絵の具を塗り、その上から墨で雪の中に咲く花を描きました。最後に、コンテで色を付け、コントラストのはっきりとした美しさと淡い色の美しさを兼ね備えた作品が仕上がりました。

2学期の最後の図工では、紙粘土で動物をつくりました。紙粘土で形をつくってから、水彩絵の具で色付けしました。

図工室の廊下が一気に動物園のようになりました。





### 3年生

3年生は交通安全ポスターコンクールに応募する作品を完成させました。

細かい部分まで塗るのは大変でしたが、最後まで根気強く取り組み、素敵な作品が仕上がりました。こんなポスターを見たら、積極的に交通ルールを守りたくなりますね。

交通安全ポスターが仕上がった後は、「ようこそ キラキラの世界へ」の学習に取り組みました。

アルミホイルやキラキラペン、キラキラの折り紙を使って、キラキラタワーをつくりました。同じ形が積み上がってできているタワーやロケットのようなタワー、天使がいるタワーなど、わくわくドキドキするような美しいタワーが完成しました。

色の組み合わせや形の組み合わせをそれぞれ工夫して仕上げることができました。

### 4年生

4年生の図工では動物アパートの作品が完成しました。動物や建物の窓や家具など、細かい部分まで工夫して作ることができていました。作品を並べてみると、本当にそこに動物が生活しているかのような街並みに見えます。1つ1つじっくり見ても、全体を見ても、魅力のある作品に仕上がりました。

2学期最後の図工では、「光と色のハーモニー」の学習に取り組みました。黒い工作用紙に穴を開け、トレーシングペーパーを貼り、そこに片ダンボールや透明折り紙を切って貼って作品をつくりました。外からの光を通してみるととても美しい作品です。この美しさに子供たちは感動していました。作品からハーモニーが聞こえて



アパートの裏にもこんな工夫が！



## 5年生

5年生は、将来の自分をつくっています。11月は自分の姿をつくり始め、12月の授業では紙粘土をつけ、自分の姿を完成させました。

髪の毛は毛糸をボンドで1本1本貼り付けました。服の部分は布を切って貼ってついたり、紙粘土でついたりしました。

鼻や耳、指など細かい部分はヘラで作りました。特に関節の部分を意識してつくることができました。

自分の姿が完成した子から、土台や背景をつくり始めました。部屋にいる設定の子はニスを塗ったり、外にいる設定の子は絵の具やおがくず、コーヒーの粉などを使ったりしてリアルに表現しました。

背景は紙粘土や絵の具で表現しています。だんだんと自分の将来の姿、世界が具体的になってきています。3学期も頑張りましょう！

土台も具体的に表現しています。



## 6年生

6年生はついに「動く！？不思議な街」の作品が完成しました。

部屋がたくさんある建物、お菓子の建物、動物がモチーフになっている建物、不思議な模様が描かれている建物など、自分たちの個性を生かして様々な建物を描くことができました。

細かい部分はペンや割り箸ペン、細筆で描きました。高学年らしく、丁寧に学習に取り組むことができていました。

最初の授業で描いたグラデーションの空、地面、そして建物のパーツを組み立てるとトリックアートが完成します。

3学期は完成した作品を鑑賞する予定です。自分たちが描いた作品がトリックアートとして仕上がっているのか、動いているように見えるのか・・・お楽しみに！

